

事業名		水道施設・改修改善事業		総事業費		79,000 千円	
① 計画 (Plan)							
長期振興計画 の位置づけ		施策名	快適な生活環境の整備				
		基本事業名	水の安定供給				
② 実施 (Do)							
事業の意図		第1・第2・第4配水池の経年劣化による機能不全を解消するための統合を行い西之表市中心市街地の災害時給水確保拠点施設として中央配水池の築造。（緊急時給水拠点確保等事業） 第3配水池区域系統の配水量が増加し、容量不足が懸念されているため容量に余裕のある第6配水池への給水区域を移行し、第3配水池の容量不足を解消する基幹管路の配水管布設替と漏水が頻発している路線の配水管布設替を行う。（水道管路耐震化等推進事業）					
事業の実績 と成果		取組内容	今年度は、中央配水池及び送配水管の実施設計を委託し、その後造成工事を行う予定であったが、一部用地買収の目途が立たず年度内の着工が出来ないことが判明したため、送配水管の布設工事に振替し工事発注を行った。				
		成 果	補助事業の初年度であり、実施設計後の工事となるため年度末が慌ただしくなったが、計画（予定）している事業費の進捗が図られたと思う。				
③ 振り返り (Check)							
事業実施上の課題 (事業担当者記入)		事業費が多額であり、発注工区も数本に及ぶと思われるので、工事期間を確保するために余裕を持って発注する必要がある。					
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)		複数年にわたる事業計画が出来ており、計画的に事業が進展している。地域住民からも要望の強いインフラ整備であり、確実にやっていく必要がある。					
④ 改善 (Action)							
2024年度方向性		計画箇所の土地取得を行い、造成工事及び配水池・配水管工事に着手する。					

事業名		防災対策用備品購入事業		総事業費		78,661 千円	
① 計画 (Plan)							
長期振興計画 の位置づけ		施策名	快適な生活環境の整備				
		基本事業名	水の安定供給				
② 実施 (Do)							
事業の意図		停電や断水に備え、備品を配備し非常事態に備える一方で、被害のあった施設の早期復旧を行い、水の安定供給を図る。					
事業の実績 と成果	取組内容	事業の初年度であり、事務手続きに時間を要したが、年度内に発注が完了し、6年度へ繰り越しを行った。 給水車を除き納品が完了している。					
	成 果	非常時に対する備えが出来つつある。					
③ 振り返り (Check)							
事業実施上の課題 (事業担当者記入)		物価高騰等影響を受けるので、予算編成時に上昇を見込んでの計上が必要である。					
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)		台風、地震、豪雨、渇水など自然災害に備えるため防災対策用の備品を購入し非常事態に対する備えを行う必要がある。 また、こうした車両・装置を運転操作できる人材を確保できるよう、庁内でも検討する必要がある。					
④ 改善 (Action)							
2024年度方向性		昨年度、発注が遅れたことから早期に防衛省との協議・事業申請を行い、早期に発注できるよう努める。					